

中国人民大学訪問の感想

L154067 福田 健也

今回の中国人民大学の訪問は私自身にとって非常に大きなものとなった。私自身今回の中国訪問が初海外であり、今後海外に行くかどうかは別として日本から飛び出すということはこの授業と言う機会が無ければ絶対に決断できていなかった。日本以外の国の様々な景観や文化、人に触れることができたのは自分にとって非常に大きな経験となった。私は中華料理が好きで料理も楽しみにして行ったが、中国に滞在した数日間の間昼も夜も中華料理でとてもおいしかったが、さすがに続くと飽きもありきついものがあった。こんなに和食が食べたいと思ったのは初めてのことである。しかし、これはこれで思い出の1つである。また、万里の長城に行くことができたのは本当に思い出深い出来事であった。中国の長期休暇と重なったこともあり大混雑が予想され当初万里の長城に行くことができるのか危ぶまれたが行くことができ、そこまで混雑していないときに行くことができたのは本当に良かった。今まで万里の長城は学校の教科書等に載っているのを見たことがある程度でなんとなくこんな感じと言うイメージはあったが、実際に自分で行って歩いてみるとイメージしていたものとは大きく違っていた。自分のイメージではもっと高い山の山奥にあると言う風に思っていた。長城の一部の下を道路が通っていたことも非常に衝撃的であった。



天安門広場にも行くことができた。門の前のところに行くには手荷物検査があった。自分のイメージでは、武装した軍人や警察官などが沢山いるようなイメージであったが実際はそんなこともなく至って平和であった。この場所で過去に非常に残忍な出来事があったということは現地を見る限りでは何の面影もなく感じることは出来なかった。今回の研修を通じて思ったことはイメージと実際のことが大きく違っていることが多かったのも、資料で見たり人に聞いたりすることももちろん良いが、自分の目で感じるということが本当に重要だという風に思った。